

意見交換会概要

日時	平成25年 5月 19日 (日) 13 : 30 ~ 15 : 30
場所	青谷地区公民館
参加者数	約20人
出席者	校区審議室 (神谷、小谷)、小林支所長、森主幹

発言者	主な意見、質問等
参加者 A	質問だが、校区審議会の概要はどうなっているのか。答申を行うとなるとかなり強力な決定権を有する組織であると感じる。学識経験者やPTA、公募による委員で構成されるというが、気高3町の声が届くのか。実情を知らない人たちが決めることに不安を覚えるし、直接、委員に会うことなく地元の声が届くのか。
参加者 A	資料は事前にHPからみてきたが、耐震化問題と生徒数減少を一緒に考えるのは怪訝な思い。作為を感じる。耐震は今現実に直面していること、生徒数の減少は将来的なこと。子供の命にかかわる問題を先延ばしにしている。この二つをごっちゃにして話をし誤魔化している。なぜ早く耐震改修をしないのか。切り分けて議論すべきだ。結局、統廃合は財政面の話であるのに出さず、児童数、生徒数の増減といった具体的な数値を示し保護者の危機感をあおる。真意は語らない。フェアじゃない。だから市教委は不信感もたれる。
参加者 A	財政論では語りたくないと言っているが、改築したら10年以上使わなければ補助金返還だの、改築したら20~30年は方向転換も認めないといった発言は、結局は財政論ありきの視点。教育的見地から考えましようと言っておきながらの不誠実。まだ、「財政的に苦しいので統合します。」といった方が正直で誠実である。子供の数が減ることは全国的にも共通認識、鹿野の状態も今に始まったことではない。今この時点で「学校のあり方」を問うのは校舎を立てたくないと言った方がまだ誠実。子供数が減少するなら教育委員会は子供を増やす対策をしているのか。減るのなら増やせばいいことだろう。振興策を考えればいだろう。
参加者 A	今回、西部地域を取り上げているが、全市域を見まわして統合問題に取り組んでいるのか。ここ以外に耐震問題と絡めて統合を議論している校区はあるのか。耐震化問題で急いで結論を出さないと危険ですよと急がせたり、西部地域だけターゲットにしたり、これが誠実、公平といえるのか。
参加者 B	山根に住んでいる子育ては終えた者だが、山間部に住む者として遠距離通学となると大変、子供だけでなく親にも負担が大きい。将来的な統合が必要というが耐震化問題は今必要なこと、昔から中学校の耐震対策を早くしてほしいと言ってきたがここまで先送りにされた。自分も部活動の送り迎え、高校になっては駅までの送り迎えをずっとやってきた。通学については後日検討というが、負担が大きくなるのは明らか。「ふるさとを思い志を持つ子」というビジョンが語られているが、この統合話はビジョンからそれている。自分の子育ては、まさにふるさとを大切に将来的には青谷に帰ってくる「ふるさとを大切にする子」として育ててきたつもり。子供も今は県外に出ているが、戻ってきてほしいと思っている。子供が戻ってきたときに中学校のない青谷町にしたくない。通学は親の力によるところが多いので家族への負担が重い。義務教育は自力で通える範囲で考えるべき。

意見交換会概要

発 言 者	主な意見、質問等
参 加 者 C	<p>統合には反対のものです。統合すると生徒数のメリットはあると思うが、通学の際の親の負担（金銭、労力）、通学時の子供の安全（通学路や交通機関の乗り継ぎ）を考慮した資料にすべき。今後の進め方についてだが、集約の仕方が分からない。3町の合意形成はどう図るのか。いつ、どのように集約するかを示されないということは、地域の知らないうちに決められる恐れがある。校区審議会は強い権限を持たされている組織だがその答申は地域の活力に直結する重大事項。地域の実情を知らない委員に決められてもとの思いもあるので、提案だが3地域の委員を導入してみてもはどうだろうか。これまで3町で意見交換会をやってきたというが、他地域の意見はどのようなものかデータを見てみたいのでHPで公開してほしい。校区審議会の許可がないと公開できないものなのか。早急にコメントを閲覧できるようにしていただきたい。</p>
参 加 者 D	<p>結論を今年度末までに出すというのは早すぎないか。地域の声を出すにしても時間が少ない。意見集約の時期も方法も決まっていけないのに、1年で方向性を示せというのは無理がある。タイムスケジュールを示し住民からの意見集約を図らないといけけないのに。そちらは何も決まってないのに、こちらには決めろという。話し合うスパンがない。この状況で1年間で方針を出すのは無理、意見集約も無理。</p>
参 加 者 E	<p>他地域ではどういう意見が出ているのか。地域の合意形成が難しいと思うが、どのように考えているか。先ほどから地域審議会という言葉が何回か出ているが、どういった組織でメンバーはどうなっているのか。住民の認知度の薄い組織が意見集約の要となるのか。</p>
参 加 者 A	<p>そもそも、この市町村合併にも賛成ではなかった。合併時に統合小学校の新築はまちづくり計画にもあった約束ごとなのに、鳥取市の都合で流された。地盤が悪いとか財政的にとか、意見交換会は何回か開かれたが全く地元の意見を考慮されることはなかった。合併時、小学校の新築費用としてストックしてあったお金も鳥取市にのいい様に使われた。全く馬鹿にしている。その上、中学校についても、新築でなく最低限の耐震改修をお願いしていたところなのに、耐震にも取り組まず中学校を無くすという。どれだけという思いだ。</p>
参 加 者 A	<p>これは意見だが資料の作り方が、いかにも誘導的。統合に誘導しようとする意図が見え見えである。子供数の減少という事象だけ切り取り、小規模ではいかにもダメという誘導を行っている。それも文字の書体も下線をひいたり斜め文字を使ったり悪意さえ感じる。「適切な学校規模」を必要とする理由があげられているが、こういった観点で校区問題を考えているならば、重大な権限を持たされている校区審議会の見識を疑う。私も教育現場におり、子供の近くにいるものとして人数が多くないといけけないとか、人数が少ないと競争心がなくなるとか学習活動の充実度が違うとかそういった事実はない。部活動も充実すると書いてあるが嘘で、通学時間に時間を割かれ十分な練習時間も取れず浜村の子と遠距離通学の子と差が生じることは確実。これで充実した部活動ができると考えるのか。生徒数減といった事実と解決には統合しかないという一方的な意見が結びつけ、保護者を統合に誘導しようとしている。全くフェアじゃない。「6学級～18学級」が適正規模だとする校区審議会には悪意さえ感じる。すぐ耐震補強を行えばいいじゃないか。教育委員会にはまただまされたという思い。何回でも意見交換を行うと言っておきながら、説明会を実施したという実績作りだけで押し切るつもりなのだろう。小学校の時と全く同じだ。2回目はないかもしれない。</p>

意見交換会概要

発言者	主な意見、質問等
参加者 A	<p>統合という話になったらバスも考えていくと言うが、実際、今の小学校バス通学の状況をみれば、教育委員会の話も信用できない。安全に通学できると説明され、路線バスを利用となっているが、平日の昼には路線バスの本数がなく、子供が学校に足止めされ、親が送り迎えすることが多い。通勤時間帯にはバスもあるが大勢の利用者があるため、乗ることができても立ったままで小さな子がゆらけているのが現状。遠距離通学にはバス通学との理論にはあきれ、子供と親に負担を押し付けている。学校の問題は子だけのものではなく親にも関係する。なのにPTA活動についても触れられていない。学級規模が多くなると保護者間の関係も希薄になる。中学校問題であるなら、PTAにも判断材料を示すことが当然だろう。</p>
参加者 A	<p>「西部地域の学校の将来のあり方について」説明を受けたが、最低でもメリット、デメリットの数は合わせるのが常識だろう。これが誘導でなくて何なんだ。全くフェアじゃない。校区審議会の公式な考え方なら責任の所在を明らかにすべき。校区審議会には信頼をおけない。生徒数があると人間関係の問題、いじめ問題など生じるがそのことの明記もない。物事には明暗があるようにメリットも見方を変えるとデメリットとなる。一方のみに焦点を当てオブラートにくるんで判断を惑わせる。小規模になりクラスの活気が無くなるのなら、その活気を取り戻す工夫をするのが教育委員会の仕事だろう。校区審議会の委員には出してもらい意見を聞きたい。</p>
参加者 A	<p>耐震改築を即、行うことが筋だろう。統合問題と耐震問題は全く別の問題。一緒にして判断を迫るといふ、その姿勢には怒りを覚える。こういったフェアじゃない資料が全世界から閲覧できること自体が大問題。校区審議会の判断を仰がなければHP公開もアップできないというのなら、即刻、校区審議会を召集することを強く要望する。</p>
参加者 F	<p>気高鹿野での意見交換会はもう終わっているのか。以前、PTA役員だったH23年に耐震結果についてのアンケートを実施、PTA耐震改修早期実施の要望者を地域審議会に提出し、地域審議会でも採決された。国もH26年までに耐震改修の実施を義務つけていたと思う。一刻も早く耐震改修してほしい。部活動のために学校統合するのはナンセンス。統合中学校を浜村に作れば、青谷と鹿野の子供には不公平が生じる。PTAなどに意見をもらうためこういった会を開いてほしいし、たくさんの人にこの問題を知ってほしい。</p>
参加者 E	<p>青谷中学校校舎の第1期卒業生は私の世代。もう70歳になる。老朽化が著しく耐震も持たないと結論が出ているなら、早く耐震改修をするべきではないのか。教育委員会は実際にひびが入ったり傾いている状態を見ている状態を見ているのか。こんな状態で放置し地震があたらどうするつもりだ。それなのにこんな話になるのはおかしいと思わないか。</p>
参加者 A	<p>これからの当事者である子供にアンケートをとるなどの考えはないのか。これからの青谷を担う人材である彼らの意見は大切。統合は単に財政面の問題で、大人の理屈、行政の理屈、教育的なものを掲げた形式だけの意見交換を実施するなど不誠実極まりない。今日の意見交換会の少ない参加者数は、これまでの鳥取市行政が住民意思を無視してきたことの結果だ。意見の反映しないような場に、忙しい時間を割いてまで参加しないのは当たり前。パブリックコメントをとり、広く議論すべきじゃないのか。</p>

意見交換会概要

発言者	主な意見、質問等
参加者 F	補助金を使い校舎を建てた場合、補助金返還の対象となるのは10年でよかったか。改築にもお金がかかるのは当然。PTAが要望を出すとか地域審議会に働きかけるとか行動をおこした方がいいのか。
参加者 D	例えば鹿野は統合したい、けど青谷は統合したくないと意見が割れた時、気高、鹿野の2校での統合も考えられるのか。
参加者 A	他地域で統合反対といった結論を出しても校区審議会でひっくり返すこともありうるという。市内を見渡しても小規模校は存在するのに気高3町だけ対象にし議論を持ってきたり、校区審議会の公平性はどこにある。
参加者 C	現役中学生から意見を聞くことはないのか。将来、保護者となる彼らの意見は大切なのでは。将来の当事者なのだからアンケートを取るなどする努力をするべきだ。
参加者 E	青谷では地区座談会のとき意見交換を行う場を持つという。しかし、地区座談会は住民も8人ほどしか参加しない会合で広く住民の意見を聴くには程遠い。誰も、前年度の決算や今年度予算といった行政内部の話が好き好んで出てこない。座談会で学校のあり方に触れると言うなら住民に対し事前に周知が必要。防災無線を使うなどしてPRすべきだ。
参加者 F	耐震化問題については中島議員が昨年末、早期に実施することになると保護者を前にして説明したり、前中川教育長も木造等で校舎の新築するという発言も地元に行っている。しかし、こういう話になった以上、青谷の意見をまとめ校区審議会にぶつけることが急がれると思う。PTAなり、地域審議会なりと連携して動いてみる。地域審議会で見聞録という形が取ればベストかなと思う。
参加者 C	やっぱり統合は反対。でも話を聞いていると意見集約が最大のポイントだと思う。住民の意思をどうやって表現するのか。署名活動なりして意思を表明する必要があるのか。